【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年3月1日(2024.3.1)

【国際公開番号】WO2022/255308
【出願番号】特願2022-542985(P2022-542985)
【国際特許分類】
C09J 4/02(2006.01)
C09J 4/00(2006.01)
C09J 11/06(2006.01)
C09J 7/38(2018.01)
【FI】
C09J 4/02
C09J 4/00
C09J 11/06
C09J 7/38

【手続補正書】
【提出日】令和4年7月13日(2022.7.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）窒素含有モノマーと、
（Ｂ）単官能（メタ）アクリレートモノマーと、
（Ｃ）架橋成分と、
（Ｄ）光重合開始剤と、
（Ｅ）前記（Ａ）窒素含有モノマー及び前記（Ｂ）単官能（メタ）アクリレートモノマーに対する反応性を有さない熱可塑性樹脂と、を含有する紫外線硬化型粘着剤組成物であって、
前記組成物を１５０μｍの厚みで基材上に塗工して、大気環境下で波長３１５ｎｍ～４８０ｎｍの紫外線を放射照度９０ｍＷ／ｃｍ^2、照射量１３５０ｍＪ／ｃｍ^{2}の条件で照射することによって得られる硬化物における大気側の面及び前記基材側の面の反応率が共に８０％以上である
ことを特徴とする紫外線硬化型粘着剤組成物。
【請求項２】
前記（Ａ）窒素含有モノマーの含有量が１０～３５重量％である請求項１記載の紫外線硬化型粘着剤組成物。
【請求項３】
更に、消泡剤を含有する請求項１記載の紫外線硬化型粘着剤組成物。
【請求項４】
前記硬化物のガラス転移温度が２０℃～－３０℃である請求項１記載の紫外線硬化型粘着剤組成物。
【請求項５】
スクリーン印刷で用いられる請求項１記載の紫外線硬化型粘着剤組成物。
【請求項６】
請求項１、２、３、４又は５記載の紫外線硬化型粘着剤組成物を印刷して紫外線を照射す

ることによって得られることを特徴とする粘着剤。
【請求項７】
基材と、前記基材の少なくとも片面に設けられる請求項１、２、３、４又は５記載の紫外線硬化型粘着剤組成物からなる粘着層とを備えることを特徴とする粘着シート。
【請求項８】
前記粘着層が前記基材上に部分的に配置されている請求項７記載の粘着シート。
【請求項９】
請求項７記載の粘着シートに含まれる前記粘着層を介して第一の被着体と第二の被着体とが貼り合わせられていることを特徴とする積層体。
【請求項１０】
第一の被着体上に、請求項１、２、３、４又は５記載の紫外線硬化型粘着剤組成物を塗布し、露光することにより粘着層を形成し、前記粘着層上に第二の被着体を貼付することにより積層体を作製することを特徴とする積層体の製造方法。
【請求項１１】
前記紫外線硬化型粘着剤組成物を塗布する方法は、インクジェット印刷、スクリーン印刷、スプレーコート、スピンコート、グラビアオフセット、又は、反転オフセット印刷であり、前記紫外線硬化型粘着剤組成物が前記第一の被着体上に部分的に塗布される請求項１０記載の積層体の製造方法。